

# 平成29年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会  
法人本部

## 平成29年度 事業報告

交楽会本部

社会福祉法の改正による社会福祉法人制度の改革に対応し、交楽会においても4月1日から新定款が施行され、新評議員7名が就任した。年度中には新理事6名、監事2名を選任するとともに理事長及び業務執行理事を選定し経営組織体制を整えた。財務規律と事業運営の透明性強化として、前年度の各施設決算、法人合算の決算をまとめ、当法人の保有する財産について社会福祉充実残額を算定した。これらを国が新たに定めた情報処理システムによる現況報告書及び社会福祉充実残額シートに記入することで、当法人の事業概要及び財務状況を公表した。前年度決算においては社会福祉充実計画の策定が義務付けられる残額は生じなかった。法人運営の主な取組みは次のとおりである。

### ① 役員会開催状況

今年度は、理事会を8回、評議員会を3回開催した。開催日時、議案については別紙のとおりであるが、社会福祉法人の制度改革に対応した体制構築のため例年以上に役員会の開催が多くなった。

### ② 役員研修及び職員研修等

10月26日(木)～27日(金)「北海道・東北ブロックセミナー」(札幌市)に役職員8名が参加し、社会福祉法改正への対応について研修した。本部主催の研修会として4月19日(水)新評議員基礎研修会(参加者6名)、1月30日(火)人事考課研修会(参加者35名)、3月26日(月)新任職員研修(参加者17名)を実施。また12月1日(金)には2年ぶりに役職員交流会(参加者114名)を開催し、役職員の親睦を深めている。

### ③ 監事監査及び外部監査の実施

28年度運営状況等について、5月24日(水)本部、26日(金)もりよし荘・森泉荘、29日(月)森幸園・もりの郷の監事監査を実施した。

外部監査は北林会計事務所が7月26日(水)本部、8月2日(水)森幸園、8月23日(水)森泉荘について実施した。指摘がされたことについては、法人全体で改善していくよう対応している。

3月30日には北秋田市による法人本部への指導監査があり、特に指摘事項はなかった。

### ④ 人事異動・採用・退職

異動…29年度は、4月1日付で本部に1名、森幸園に3名、森泉荘に2名、もりの郷に1名と7名人事異動、12月1日付でもりの郷に1名の人事異動を実施している。

採用…新卒者等の正職員採用試験を2度実施し2名が受験するも就職に至らず、30年度の新卒採用者は確保できなかった。有資格者を年度途中で1名採用している。今年度新たに途中退職職員の再雇用制度を制定し、その制度により2名を採用している。

退職…年度中に正職員16名が退職している。その内定年退職者は4名であったが、定年退職者で新年度も再雇用として勤務する職員は1名であった。

### ⑤ もりの郷グループホーム事業の転換

もりの郷のグループホームにおける慢性的職員不足と、北秋田市の29年度以降の65歳以上の高齢化人口の減少及び要介護認定者数の減少に対応するため、グループホーム事業について検討した。

北秋田市高齢福祉課及び障害福祉課と協議、県障害福祉課とも協議し、もりの郷の認知症対応型グループホーム(3ユニット定員27名)はもりの家(2ユニット定員18名)のみとし、もりの郷のグループホーム(定員9名)は平成30年4月1日より障害者グループホームに転換することとした。

### 今後の課題

- ・人材の確保～職員配置、人件費適正化の検討及び人材育成、法人全体のイメージ向上
- ・改正社会福祉法に対応した取り組み～財務規律の強化、地域における公益的な取り組みの検討実施

### ○理事会開催状況

	日 時	出 席 状 況
第1回	6月5日(月) 14:50	理事5名出席、書面出席1名、監事2名出席
第2回	6月22日(木) 14:30	理事5名出席、欠席理事1名、監事2名出席
第3回	8月17日(木) 9:55	理事6名出席、監事2名出席
第4回	9月7日(木) 14:00	理事5名出席、欠席理事1名、監事2名出席
第5回	9月14日(木) 11:00	理事5名出席、欠席理事1名、監事2名出席
第6回	12月1日(金) 14:00	理事6名出席、監事2名出席
第7回	2月6日(火) 14:00	理事6名出席、監事2名出席
第8回	3月29日(木) 10:00	理事6名出席、監事2名出席

### ○評議員会開催状況

	日 時	出 席 状 況
第1回	6月22日(木) 10:00	評議員6名出席、欠席評議員1名、監事1名出席、 欠席監事1名
第2回	9月14日(木) 10:00	評議員5名出席、欠席評議員2名、監事2名出席
第3回	3月29日(木) 14:00	評議員6名出席、欠席評議員1名、監事2名出席

### ○合同会議

回数	月 日	回数	月 日	回数	月 日
第1回	4月25日(火)	第5回	8月29日(火)	第9回	12月20日(水)
第2回	5月22日(月)	第6回	9月29日(金)	第10回	1月29日(月)
第3回	6月26日(月)	第7回	10月30日(月)	第11回	2月27日(火)
第4回	7月25日(火)	第8回	11月29日(水)	第12回	3月27日(火)

### ○施設長会議

回 数	月 日	回 数	月 日
第1回	4月25日(火)	第6回	10月30日(月)
第2回	5月22日(月)	第7回	11月29日(水)
第3回	7月25日(火)	第8回	12月20日(水)
第4回	8月29日(火)	第9回	2月15日(木)
第5回	9月29日(金)	第10回	2月27日(火)

### ○評価作業部会

	月 日	参加人数	講 師
人事考課研修(7回)	1月30日(火)	35名	中尾経営事務所 代表 中尾 雅樹 氏

## ○役員研修会

	月日	研修名	主催	開催地	内 容	参加者
1	6月 2日	秋田県社会福祉法人経営者協議会総会	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田市	・H28 事業報告、決算 ・H29 事業計画、予算 ・役員欠員に伴う後任者選任 ・講演	(理事長) 成田陸雄
2	8月 23日	秋田県経営協セミナー (前期)	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田市	・講義「要チェック！改正社会福祉法 施行後の法人経営」 ・説明「『知らない』では済まされない！ 指導監査ガイドライン徹底解説」	(理事長) 成田陸雄 (業務執行理事) 柏木正人 (理事) 赤石利法
3	10月 11日	秋田県社会福祉法人経営者協議会 県北会公開研修会	秋田県社会福祉法人経営者協議会 県北会	大館市	・公開講演「地域包括ケアの目指すもの ～介護予防から看取りケアまで」	(理事長) 赤石利法
4	10月 26日～ 27日	北海道・東北 ブロックセミナー	北海道社会福祉法人経営者協議会	札幌市	・「地域における公益的な取組の異議とは～真に信頼される社会福祉法人のために」 ・「地域における公益的な取組実践について」 ・「地域に根ざし地域を支える」	(役員) 赤石利法 柏木正人 土濃塚廣孝 滝澤葉子 庄司佳徳 清水一 (職員) 片岡聡 田村風花
5	1月 23日	秋田県経営協セミナー (後期)	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田市	・講義「ここで差がつく！明日からの社会福祉法人経営～伝えたい3つのこと」 ・説明「時代を先取りした最新情報をキャッチ」 ・実践発表、事例解説「明日からこれを取り組める！地域における公益的な取組の極意を教えます」	(業務執行理事) 柏木正人 (理事) 土濃塚廣孝 滝澤葉子
6	2月 13日	秋田県社会福祉法人経営者協議会 県北会総会・研修会	秋田県社会福祉法人経営者協議会 県北会	大館市	・総会 ・研修会「秋田県介護サービス事業所 認証評価制度について」	(理事長) 赤石利法 (業務執行理事) 柏木正人

## ○外部監査

依頼先：北林会計事務所(秋田市)

月 日	対象施設	監 査 内 容
7月26日(水)	法人本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経理規定の運用状況 ・データの保護状況</li> <li>・公印の管理状況 ・総勘定元帳の閲覧</li> <li>・給与計算と支給額の検証 ・社会保険の料率の妥当性</li> <li>・役職と手当支給の妥当性 ・定期昇給-辞令との照合</li> <li>・扶養手当、住居手当、通勤手当</li> </ul>

月 日	対象施設	監 査 内 容
8月2日(水)	森幸園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な人事異動の必要性が認識されているか</li> <li>・領収書用紙の発行、管理状況 ・周辺会計の処理状況</li> <li>・主な勘定残高の中に滞留したものや赤残となっているものがないか ・内部取引の会計処理</li> <li>・作業班の収支管理状況</li> <li>・利用者預り金管理規程の運用状況</li> </ul>
8月23日(水)	森泉荘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度計算書類、注記事項、内部取引の処理状況</li> <li>・手提げ金庫の内容物を検査</li> <li>・印紙、切手の受払管理状況</li> <li>・領収書用紙の発行、管理状況</li> <li>・利子源泉税が非課税扱いとなっているか</li> <li>・周辺会計の処理状況 ・取引記録の点検 ・園内の見学</li> <li>・利用者預り金規程の運用状況 ・IT関連</li> </ul>

### ○苦情解決第3者委員

・原田敏美、奥山芳寿、笠井乗子（3名）

任期：平成28年6月1日～平成30年5月31日（2年）

#### 【相談コーナー開催日】

回数	日時	内 容
第1回	7月21日(金) 17:30～19:00	森幸園苦情受付相談コーナー(森の夕べ) 第3者委員～3名 原田敏美、奥山芳寿、笠井乗子
第2回	7月28日(金) 15:00～16:30	もりよし荘苦情解決相談コーナー(夕涼み) 第3者委員～3名 原田敏美、奥山芳寿、笠井乗子
第3回	9月15日(金) 9:30～10:30	森泉荘苦情受付相談コーナー(敬老式) 第3者委員～3名 原田敏美、奥山芳寿、笠井乗子
第4回	10月29日(日) 11:00～12:00	もりの郷苦情受付相談コーナー(もりの家・もりの郷家族会総会) 第3者委員～3名 原田敏美、奥山芳寿、笠井乗子

※苦情解決担当者会議～平成30年3月14日(水)

(理事長、第3者委員3名、各施設苦情解決責任者及び苦情受付担当者名)

#### 【苦情・相談受付状況】

施設名	苦情・相談区分	申出者	内 容	解決状況	第3者委員への申出
森幸園	・相談	・本人	・洋服等がなくなった。	・部屋が変わった際に本人の了解を得てから処分した物が勘違いによる誤解。	・無
もりよし荘	・相談	・本人	・3ヶ月で退所となるのか心配。	・苦情はなく話を聞いてもらいたかった。	・無
	・相談	・本人	・特に不満はない。	・話を聞いてもらいたかった。	・無

施設名	苦情・相談区分	申出者	内 容	解決状況	第3者委員への申出
もりよし荘	・苦情	・家族	・面会時に他利用者数名から母が特定の職員にいじめられていると聞いた為確認してほしい。また、担当からの手紙もあまり感じの良いものではない。	・言葉使いには十分に注意し、利用者の皆様に誤解や不信感を招かぬよう、接遇の改善に努めます。 ・文書の表現には十分に注意すると共に、郵送する前に主任が文書を確認します。	・有
森泉荘	(無)				
もりの郷	相談	・家族	足腰は大丈夫だけど忘れっぽくなった。特に心配な事はないのでこのままお世話になりたい。	・話を聞いてもらいたかった。	・無

# 平成29年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会  
介護老人保健施設 もりよし荘

# 平成 29 年度 介護老人保健施設もりよし荘 事業報告

## ◎施設運営

老人保健施設としての機能を発揮しつつ、この地域、利用者ニーズに則した施設サービスの提供を目指した。地域交流行事である運動会、夕涼み会、地域福祉講座は毎年のものであるが、多くの地域の皆様の協力のもと盛大に開催することができ地域行事の一つとして定着しつつある。またサービスの多様化や利用者数減、人材確保が困難な状況において施設運営は益々厳しさを増している。それでも、サービスの質の低下につながらないように努めた。

感染症対策としては昨年の反省や、管内の感染状況から早めの対策を取ることで、2月から3月にかけて6名の利用者がインフルエンザに罹患したが、感染予防委員会が中心となり、それ以上の罹患者や蔓延することなく終息している。

管理運営面においては、7月に老朽化が著しかった水源ポンプの更新工事、3月には浴室の大規模な配管改修工事を行った。車輛について、11月に24時間テレビチャリティー委員会よりリフトカーの寄贈決定の通知が届き、1月末に無事納車となり、現在、送迎、受診など幅広く活用している。

## ◎重点目標取り組み報告

### ・入所・短期入所

#### ① 関係機関との密接な連携による地域包括ケアの推進

住み慣れた地域において、在宅生活が可能な限り継続出来るよう、北秋田市地域包括支援センター並びに各関係機関との連携を深め、老人保健施設としての機能発揮に努めた。在宅生活の支援から始まり、看取り期まで幅広い対応を求められる中で、研鑽を重ねながら地域包括ケアの推進を目指した。

#### ② 関係法令の遵守による質の高いサービス提供

高齢者虐待、身体拘束、個人情報等の関係法令を遵守しサービス提供に努めた。特に、緊急やむを得ず身体拘束（説明、同意のもと）に至ったケースについては、定期的に会議を開催し身体拘束解除に努めた。

#### ③ 接遇マナーの向上

毎年接遇マナーの向上に向け取り組み、幾分改善傾向も見られるも苦情相談が1件あった。第3者委員への報告、改善事項の報告や家族への謝罪が行われた。緊張感をもって業務するよう職員一同周知徹底を図った。

#### ④ 実地指導の結果を踏まえた記録の整備及びサービス計画の改善。

カンファレンス（各専門職による協同会議を月・水・金曜日の午後から開催）においてそれぞれの専門的知見から定期的にサービス計画（ケアプラン）を作成。指摘事項であった週間サービスや日課表を詳しく記載し改善した。



- ⑤ 職員体制変更に伴う日常生活能力の低下防止  
リハビリ専門職を中心に身体機能訓練だけでなく、日常生活の場面においても、能力が向上するよう努めた。また在宅復帰に向け、自宅へ訪問し専門的視点から住宅改修、危険箇所など助言や指導がされた。
- ⑥ 委員会活動を中心とした予防意識統一  
感染予防、安全支援委員会を中心に職員が一丸となって、感染症及び事故防止に努めた。特に森吉地区でのインフルエンザ流行期が早く施設内感染レベル2としたマニュアル対応を実施。面会規制、手洗いの徹底を図った。2月利用者4名、3月利用者2名罹患するも隔離対応、同室者への予防タミフル処方にて、それ以上蔓延することなく終息できた。今年の反省もふまえさらに予防に努めていきたい。
- ⑦ 看取り体制の充実  
施設で看取りを行ったケースは5名（昨年度7名）（内）ターミナルケア加算算定5名（昨年度7名）であった。施設での看取りの中でグリーフケア（遺族の悲しみを癒すケア）等への取り組み等、職員も常に誠心誠意、真摯に対応した。また看取り介護について家族へアンケートを行い、今後の体制に活かした。
- ⑧ 利用率の向上  
目標利用率96%に対し93.8%であった。上半期を93.8%で折り返しており、下半期はさらに入所率の向上努めたが、在宅復帰、施設内で永眠される利用者も多く目標に届かなかった。入所相談から入所決定に至るまでの関係機関、家族調整もあるがスピード感をもって対応することが必要である。

## ・通所リハビリテーション

- ① 目標利用率70%に対し65.2%の実績であった。利用率の向上を目指したが、利用者の死亡、サービスの切り替え等が多く目標を割り込む結果となった。
- ② サービス計画を軸に在宅生活が継続出来るよう、利用者一人一人に合ったサービス提供に努めた。担当者会議で、状態報告、ご家族の意向も尊重しながらサービス提供にあたった。
- ③ ご家族及び関係機関との関係性を大切にしながら、迅速、確実、誠実な情報提供を心掛け事業所としての信頼が得られるよう努めた。
- ④ 日頃から職員間で危機意識を保ち、予防策を講じるなどした結果、大きな事故、感染症の蔓延もなく1年を経過することが出来た。

## ・居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター

- ① 介護予防・日常生活支援総合事業の利用促進を図った。
- ② 北秋田市から委託されている相談支援事業の充実に努めた。
- ③ 地域包括ケアの取り組みとして関係機関との連携、学習機会の確保に努めた。

# 事業報告書

	管 理 ・ 運 営 関 係	利 用 者 関 係
4月	1日 もりよし荘便り(かけはし)発行 12日 電気設備点検・工事(エレックス極東) // 開設記念日(26回目) 14日 春のクリーンアップ 18日 県老健施設通常総会(秋田市) 20日 運営会議 21日 職員互助会(さくら会)総会 24日 管内漏電検査 28日 消火栓移設工事	3日 理容の日 5日 不在者投票(県知事選挙) 10日 美容の日 17日 理容の日 24日 美容の日 // 通所春のドライブ開始 26日 各ユニットお花見
5月	10日 浄化槽工事 15日 職員健康診断(保健事業団) 19日 運営会議 23日 ワックスがけ～7/22日まで 25日 消防立入検査 26日 監事監査 29日 秋田県集団指導	1日 理容の日 8日 米内沢祭典・神輿見学 // 美容の日 12日 米内沢小運動会前日祭 よさこい披露 15日 理容の日 22日 美容の日 31日 チャレンジデー(茨城県行方市)
6月	6日 消防設備点検 13日 窓ガラス清掃(～14日) 14日 灯油地下タンク清掃・点検 15日 運営会議 20日 総合避難訓練 21日 暖冷切り替え作業 22日 自動ドア保守点検	1日 比内支援学校中学部交流会13名 通所 5日 理容の日 6日 通所ドライブ終了(延べ28名参加) 10日 運動会(第10回もりりんぴっく) 12日 美容の日 19日 理容の日 26日 美容の日
7月	7日 業務用洗濯機・乾燥機保守点検 10日 地下タンク清掃点検 11日 浄化槽法定検査 18日 給水ポンプ更新工事(夜間断水) 20日 運営会議 22日 業務用乾燥機故障修理	3日 理容の日 10日 美容の日 17日 理容の日 18日 比内支援学校中学部交流会4名 通所 24日 美容の日 28日 夕涼み会 柏木妙子ショー他 // 苦情解決相談コーナー
8月	7日 秋田大学療法科就職説明会 10日 浄化槽蓋更新工事 17日 運営会議 24日 安全運転管理者講習 28日 浄化槽自動制御関連修繕工事	7日 理容の日 13日 米内沢共勇会駒踊り 14日 美容の日 21日 理容の日 ※ お盆帰省利用者～外出7名、外泊12名
9月	3日 秋田県老健バレー大会 天王体育館 8日 自動ドア点検 10日 浴室大掃除 12日 簡易専用水道検査(保健事業団) 14日 公表制度調査日 15日 貯水槽・通所FF暖房器清掃点検 21日 運営会議 23日 浴室タイル補修工事	4日 理容の日 7日 敬老会(米内沢保育園児演芸披露) 8日 通所秋のドライブ開始 11日 美容の日 12日 利用者結核検診(直接・間接) 18日 理容の日 20日 100歳表彰2名(地域振興局) 24日 100キロマラソン応援 25日 美容の日

	管 理 ・ 運 営 関 係	利 用 者 関 係
10月	1日 もりよし荘だより(かけはし)発行 3日 空調冷暖切替 4日 協会けんぽ保健指導 7名 // レジオネラ水質検査(一般浴 特浴 ボイラー) 8日 介護支援専門員資格試験日(3名) 12日 地域福祉講座 13日 24時間テレビ福祉車両内定通知 13日 秋のクリーンアップ 17日 献血車来荘 19日 運営会議・職員会議 27日 大型加湿器2台(冬期間レンタル)設置	2日 理容の日 3日 比内支援学校中学部交流会12名 通所 9日 美容の日 16日 理容の日 17日 不在者投票(衆議院) 23日 美容の日 24日 うめユニットドライブ 26日 通所ドライブ終了(延べ32名参加) 27日 結核健診精密検査2名 31日 ふじユニットドライブ
11月	6日 夜勤従事者健康診断 9日 職員インフルエンザ予防接種 15日 避難訓練(夜間想定)、通報訓練 16日 運営会議 18日 北秋田市福祉大会(永年勤続表彰対象4名) 22日 非常用照明装置法定点検	6日 理容の日 13日 美容の日 // インフルエンザ予防接種開始 21日 理容の日 22日 感染レベル1対応 27日 美容の日
12月	1日 消防設備点検 4日 浴室床暖3方弁交換工事 5日 精神保健協会北秋田支部総会 8日 互助会忘年会 17日 浴室清掃 21日 運営会議	4日 理容の日 11日 美容の日 25日 クリスマス会(各ユニット) 28日 餅つき大会 31日 大晦日 ※ お正月外泊11名 外出2名
1月	4日 施設長年始訓示 10日 電気設備点検 18日 運営会議 // 県老健理事会 23日 灯油地下タンク漏洩検査 30日 業務用大型洗濯機・乾燥機保守点検 31日 24時間テレビ福祉車輛贈呈式(秋田放送)	2日 各ユニット新年会 8日 美容の日 9日 100歳表彰1名(北秋田市) 15日 理容の日 20日 感染レベル2対応(面会規制) 22日 美容の日
2月	9日 比内支援学校進路後援会 15日 運営会議 22日 安全運転管理者総会 26日 給水給湯管漏水調査	3日 節分 各ユニット豆まき 5日 理容の日 12日 美容の日 19日 理容の日 28日 美容の日
3月	8日 一浴給水給湯配管工事 17日 特浴給水給湯配管工事 15日 運営会議 27日 職員会議 30日 職員互助会送別会 // 介護福祉士2次試験発表(1名合格)	3日 ひな祭り 各ユニット 5日 理容の日 12日 美容の日 19日 理容の日 21日 不在者投票(北秋田市議選挙) 26日 美容の日

# 平成29年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会  
障害者支援施設 森幸園

## 【事業・運営】

### 1、総括

施設整備については、計画通り東地区2棟のスプリンクラー設置、監視カメラ・センサー設置、錠前の交換工事を行い、防犯体制の強化を図った。また、錠前交換に当たり「鍵の管理規程」を整備し、管理意識の徹底に努めた。

施設運営については、東京都の現地確認による運営指導において指摘された「虐待・事故発生時の対応マニュアル」を新たに作成し、指示命令系統を明確にすると共に、組織全体で改善する仕組みの確立を図った。

利用者支援については、2月から3月にかけてインフルエンザの集団感染があり、延べ13名が感染し終息まで20日余りを要した。利用者の特性から隔離は難しい状況にあるが、発生後の拡大防止の取り組みを強化していきたい。

体制的には、職員不足が依然大きな課題となっており、夜勤業務を伴う職種に留まらず、全職種において人材確保が厳しい状況が続いた。

### 2、重点事項

#### (1) サービス提供体制の推進

相談支援計画を元に、個別支援計画を作成し目標達成に向けて、適切なサービスの提供に努めた。

また、計画作成について東京都の指導もあり、次年度から、受給者証に沿った計画作成に変更するに当たり東京、県内に於いて説明会を行い、理解を求めた。相談支援とサービス管理責任者が連携を図り、個々の利用者の目標達成に向けた取り組みを強化していきたい。

#### (2) 利用者に適した生活支援の対応

利用者の安全を確保するため、定期的に危険個所の点検を行い改修、修理を行ってきたが、重度化・高齢化に対応していくためには、増改築が必要な状況にあり、中長期計画に組み入れ計画的に進めていくこととし、次年度から補助金申請を行っていく。増改築により、強度行動障害利用者の生活空間の改善及び高齢化に対応した浴室の整備を行ってきたい。

#### (3) 日中活動の充実

利用者の高齢化に伴い、個々に合った支援や無理のない活動に努めると共に、安全面を重視した活動支援に努めた。

生産活動に於いては、天候に恵まれ野菜や果樹、採卵鶏など概ね順調に推移した。比内地鶏飼育場で紛失事故が発生したが、雛の補充を迅速に行い順調に生育し予想を上回る速さで完売することが出来た。又イベント販売にも積極的に参加し、販路拡大に努めた。

#### (4) リスクマネジメントへの取り組み

危険予知訓練(KYT)を継続し、職員の危険回避能力と気付きの感性向上とヒヤリハットの積極的な提出を目標に掲げ取り組んだ。特に、ヒヤリハット提出件数を増やすことは、東京都からの指導事項でもあったが、目標達成に至らず次年度も継続して強化していきたい。

事故要因分析、事故発生時のユニット会議、リスクマネージャーを配置しての再発防止対策会議開催の体制を確立できたのは、今年度の大きな収穫であった。

#### (5) 職員の資質の向上

職員個々の研修計画に基づき外部研修派遣、資格取得へのスクーリング派遣を行い、社会福祉士、介護福祉士、ケアマネの資格取得に繋がったことは大きな成果であった。

施設内研修や勉強会は、開催時間の関係もあり参加者の確保が厳しい状況にあったため、次年度は開催時間を変更し、施設内研修及び勉強会に参加しやすい体制を整えたい。

#### (6) 地域や家族との連携強化

地域との交流会・行事参加、奉仕活動の機会を設け地域との交流を図った。また、後援会活動、防災訓練を通じて、消防団や地域自治会との連携強化に努めた。

家族との関わりについては、家族総会で結束を図ると共に、昼食会・懇談会の開催、夕涼み会や面会サービスを実施し連携を図った。

## 利用者支援

春の観桜会や一泊旅行・日帰り旅行は利用者の体力面などを考慮し、少人数でのグループ編成を行い、前年度の反省を生かし暖かい時期に実施することで、利用者の負担の軽減、安全の確保を図ることができた。また、ボランティアの協力を得ながら電車を使っての外出や県の助成金を活用しての一泊キャンプなどで、社会体験を図ることができた。

帰宅が困難は利用者が増えたことから始めた面会サービスの実施は、1名のみでしたが、家族が高齢化している状況を踏まえ今後も継続して行っていきたいと考えている。

利用者自治会主催の夏季のBBQやクリスマス会は、もりの郷の利用者やボランティアとの交流が図られ楽しい一時を過ごす事ができた。今後も利用者の主体的に行事を運営できるようにようサポートしていきたい。

利用者支援において職員の不適切な支援から、利用者とのトラブルに発展した事例があり、聞き取りを行い、支援の在り方を再確認し改善を図った。また、事故発生時は速やかに家族、関係機関へ連絡し、施設長・リスクマネージャーを入れて対策会議を行い再発防止に努めた。

感染症については、インフルエンザの集団発生があり活動の休止、行事の一部中止を余儀なくされ、利用者の日常生活に影響を及ぼす結果となった。

### (1) 施設入所支援

調理実習、個別外出は個々のニーズを聞き、相談しながら計画を立てて実施に繋げた。

また、グループ外出では社会的ルールやマナー取得の目的を持ちつつ、楽しい時間が過ごせるよう配慮し行った。

毎月の家族への近況を報告では、健康面や精神面での変化を詳しく伝え、家族との信頼関係作りに努めました。

高齢化が進む中、介護技術の園内勉強会のほか、ユニット単位で勉強会を開催するなど、技術の習得に積極的に取り組んだ。

### (2) 障害者福祉サービス(日中活動)

#### ・生活介護

天気の良い日は日光浴を兼ね骨粗鬆症の予防に努めました。また、歩行を通して季節や景色を感じてもらい、健康維持や気分転換に繋がるように支援しました。趣味的活動では色々な用具を提供し、指先を使えるように取り組みました。

夏場の炎天下での作業は適度に休息や小まめな水分補給を行い、熱中症対策を図り無理なく作業に取り組めるようにしました。

#### ・就労継続支援B型

畑は天候に左右され耕起は少し遅れたものの、平年並みの収穫がありEMと連携しながら厨房への納品と地域や職員へ販売を行った。比内鶏飼育では5月の雛入荷後、60羽の鳥獣被害を受け、鶏舎ハウスネットの強化や敷地内のセキュリティー強化を図った。比内地鶏販売は12月前半の予約で完売になるなど常連のほか、国道端に立てたのぼりの宣伝効果も出始め、直接販売所を訪れて購入する方も増えた。

次年度から定員が増えることを踏まえ、事業を増やし工賃の向上に繋げていきたい。

# 事業概要

月	管理・運営関係	利用者関係
4月	3日 辞令交付・理事長訓示・施設長就任挨拶 14日 やまね会総会(会員28名・法人2・職員8名) 22日 森吉家族会総会(37家族45名職員15名)	10日 秋田県知事選挙(7名) 16日 思いやり自治会総会(66名もりの郷8名) 22日 生活支援センターささえ10周年(2名) 26日～5月4日 活動毎に観桜会
5月	15日 職員健康診断 18日 地域との防災会議 (消防署員1名・前田駐在所1名・地域6名 消防団1名・後援会3名・法人1名・職員8名) 19日 第1回勉強会「レクリエーション」(16名) 25日 比内支援学校たかのす校中等部見学 (生徒8名 先生6名) 29日 法人監事監査	5日 阿仁前田祭典(2名) 13日 さわやか街ボラ利用列車外出 (3名、ボランティア1名) 14日 前田小学校運動会(11名) 15日 利用者健康診断 20日 さわやか街寿司バイキング(10名・ボラ1名) 23日 地域清掃奉仕(7名・前田南駅周辺) ※ユニットでの避難訓練(3ユニット) ※一泊旅行1グループ(10名・青森)
6月	5日 第一回理事会 10日 草刈りボランティア(後援会11名・職員12名) 15日 東京都福祉保健局施設視察調査4名来園 18日 阿仁前田駅前祭典(担ぎ手職員3名) 21日 総合避難訓練(消防署員4名) 22日 第一回定時評議員会・第二回理事会 23日 職員全体会議(22名) 26日 サービス利用(施設入所・生活介護)秋田市	14日 県北球技大会(22名・ニプロハチ公ドーム) 17日 あけぼの・あすなろ合同BBQ(21名) 19日 地域草取り奉仕(7名・神成地区交流センター) 21日 総合避難訓練(東地区) 24日 東地区ボラ利用外出(4名・ボラ2名) 25日 音楽クラブ 28日 前田保育園苗植え交流(11名・園児13名) ※ユニットでの避難訓練(2ユニット) ※一泊旅行2グループ(13名・山形) ※日帰り旅行2グループ(5名)
7月	8日 第三者評価に伴う経営層合議(職員11名) 16日 草刈りボランティア(後援会10名・職員15名) 19日 第1回北秋田まち美化活動(職員9名) 21日 夕涼み会「森の夕べ」(総数250名) (家族38名・ボラ12名・法人・後援会・地域他) 29日 第2回勉強会「レクリエーション」(13名)	9日 音楽クラブ 13日 県北レクリエーション大会(20名・ニプロドーム) 16日 アルミ缶収益地域還元(2名・桂瀬自治会) 21日 夕涼み「森の夕べ」(70名) 25日 土砂災害避難訓練(四季美館へ) ※ユニットでの避難訓練(1ユニット) ※一泊旅行1グループ(12名・岩手) ※日帰り旅行4グループ(12名)
8月	2日 法人外部会計監査(北林会計事務所) 4日 第三者評価訪問(利用者聞き取・説明会) 4日 SP入札(たんぼぼ・コテージホープ) 17日 第三回理事会 23日 第2回北秋田まち美化活動(職員9名) 25日 夜間想定避難訓練・集合訓練(職員25名) 25日 もりの郷避難受入(利用者18名職員5名) 29～30 比内支援たかのす校高等部体験実習 (生徒4名・先生3名)	7日 七夕火祭り(7名・阿仁前田河川敷) 11日 一時帰宅(東京方面10名・県内3名) 11日 残園者日帰り旅行(41名・本体) 12日 残園者日帰り旅行(14名・東地区) 25日 夜間想定避難訓練(本体利用者48名) 26日 あすなろ一泊キャンプ(6名) 26日 さわやか街夏祭り(9名・ボラ2名) 27日～カレー昼食会(ユニット毎) ※ユニットでの避難訓練(3ユニット) ※一泊旅行1グループ(7名・山形)
9月	7日 第四回理事会 9日 草刈ボランティア (後援会11名・一般1名・職員10名・利用者1名) 15日 第三者評価受審訪問調査 25日 第3回北秋田まち美化活動(職員9名) 27日 無断外出捜索訓練(18名) 29日 第3回勉強会「高齢者支援」(19名)	9日 音楽クラブ(14名) 16日 さわやか列車外出(2名・ボラ1名) 17日 神成地区祭典(8名) 21日 五味堀いきいき交流会(5名) 21日 交通安全キャンペーン(7名 前田駐在前) 23日 思いやり自治会BBQ(36名もりの郷含む) ※ユニットでの避難訓練(1ユニット) ※一泊旅行2グループ(18名・岩手・宮城) ※日帰り旅行2グループ(4名)

月	管理・運営関係	利用者関係
10月	3日 保健指導 7日 家族との交流会 (理事長、事務長、家族ほか総勢 162名) 13日 BCP訓練 20日 第4回勉強会 「高齢者支援における介護技術」(13名) 27日 職員全体会議・園内研修(20名)	3日 北秋田市敬老式(2名、職員2名) 15日 前小学習発表会(10名、職員3名) 16日 神成だまっこ交流会(9名、職員5名) 17日 前田保育園サツマ芋堀交流 (15名、園児15名、先生3名、職員4名) 17~24日 比内支援学校高等部活動体験実習 (生活介護1名、就労B型1名、先生1名) 21日 交通安全教室(48名、職員12名) 24日 ナイスハート交流会(5名、職員3名・潟上市) 26日 面会サービス(1名・東京) 28日 イベント販売(3名、職員2名・いとく鷹巣) 28日 あげぼの街寿司昼食会 28日 東地区秋祭り(21名、招待利用者7名、 職員6名、郷職員2名、ボラ2名) ※一泊旅行1グループ(4名、・岩手方面) ※日帰り旅行1グループ(2名) ※各ユニットで避難訓練(3ユニット) ※各ユニット毎に地域外出を実施
11月	6日 健康診断(夜勤従事者) 9日 秋田県東京都委託施設連絡協議会(4名) 10日 外部講師園内研修会 「セルフケア研修」((29名、他施設12名) 12日 地域合同避難訓練・会議・交流会 (理事長、消防団、後援会ほか、職員9名) 14日 新人職員施設見学研修(9名) 17日 第三者評価受審最終報告会 17日 第5回勉強会 「権利擁護・虐待防止対策」(18名) 24日 インフルエンザ予防接種(49名) 29日 本体地震想定避難訓練	4日 さわやか街買い物外出(2名、ボラ2名) 5日 東地区鍋昼食会 6日 健康診断 18日 あすなろ街寿司昼食会 24日 インフルエンザ予防接種(68名) 25日 音楽クラブ(14名) ※各ユニットで避難訓練(2ユニット) ※各ユニット毎に地域外出を実施
12月	1日 法人交流会 8日 スプリンクラー・錠前完成検査 (東京都2名、業者) 22日 第6回勉強会 「権利擁護・虐待防止対策」(14名)	3日 さわやか・あげぼの街鍋昼食会 9日 支援センターささえXmas会(5名、職員3名) 11日 秋田県共同募金(1名) 17日 自治会Xmas会(68名、高校生ボラ5名、 先生2名、総勢118名) 29日 冬季一時帰宅(東京方面7名、県内2名) 29日 本体残園者旅行 30日 東地区残園者旅行 ※各ユニットで避難訓練(1ユニット) ※各ユニット毎に地域外出を実施
1月	26日 第7回勉強会「リスクマネジメント」(26名) 26日 やまね後援会新年会 (理事長、やまね会22名、職員2名) 30日 法人人事考課説明会(職員14名)	20日 除雪奉仕(5名、職員2名、ボラ職員5名、 地域5名) 21日 さわやか街新年会(8名、職員2名、ボラ1名) ※各ユニットで避難訓練(2ユニット) ※各ユニット毎に地域外出を実施
2月	10日 家族説明会(個別支援計画書ほか・東京) (25家族33名、職員3名) 17日 家族説明会(個別支援計画書ほか・県内) (5家族9名、職員4名) 7日 BCP訓練	1日 前田地区合同歳祝い(4名) 3日 自治会臨時総会(74名、もりの郷含む) 11日 あすなろ・やまびこ街鍋昼食会 11日 さわやか街レクリエーション (9名、職員3名、ボランティア1名) 17日 除雪奉仕(6名、職員2名、ボラ職員12名、 後援会9名) ※各ユニットで避難訓練(1ユニット)
3月	23日 全体職員会議・園内研修会(30名)	4日 さわやか街ボランティア外出 (2名、職員1名、ボランティア1名) 5日 前田小学校ベルマーク寄贈(利用者1名) 10日 就労支援B型慰労会 ※各ユニットで避難訓練(2ユニット)



# 平成29年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会  
特別養護老人ホーム 森泉荘

## 総括

交楽会綱領に基づき、事業計画に沿った運営を行い利用者のサービスの向上に努めてまいりました。日々変化する利用者への対応は個別のケアが求められており、職員個々の実践技術の向上とチームワークの取れた介護が求められております。このことから、毎日の生活が活気あるものとするため、余暇活動を積極的に取り入れ、生活に生き甲斐感をもたらすよう努めております。

施設運営関係では、介護職員処遇改善が求められるなど、高齢者福祉の取り巻く環境もますます厳しくなっております。そのような中で年度途中、介護職員(正職員)2名が退職し募集をしていますが補充に至っておらず、施設管理・業務の見直し、コスト意識の醸成など、創意工夫の上適正な運営管理に努めております。

昨年度インフルエンザA型集団発生し利用者の生活に支障が出たため、今年度は職員全員で予防に努めた結果、罹患者はありませんでした。

施設事業関係では、恒例行事として敬老式を9月に開催、たくさんの来賓をお迎えし盛会裏に終えております。また、森吉山麓たなばた火まつりの見学、施設駐車場広場を開放して阿仁前田獅子踊り保存会の伝統芸能披露会の開催、新年会では根森田地区婦人会七福神の「福をもたらす舞」の披露など、地区の一員として地元地域事業に協力しております。

地域交流推進事業として「観桜会・環境整備事業・もちつき会」の3事業を実施しました。観桜会は、地元下前田自治会の参加により、利用者との交流を深めております。

また、ボランティアでお見えになる方々を対象に「介護教室」を開催し、介護に関連したさまざまな情報を提供することができました。

(利用者の実績)

(入所率%)

	本年度実績	昨年度実績
長期利用者	97.1	96.4
短期利用者	96.3	101.3
全体	96.9	97.4

## 重点目標

### 1. 明るい職場づくり

職員の職場に対する意識の取り組み、そこから生まれる利用者支援(介護)を大切にするため「いつも笑顔で元気よく」をモットーに職員と職員、そして職員と利用者との信頼意識が生まれる環境づくり、職場の規律を遵守することによる専門性の向上・安心感・信頼感のある職場づくりに努めました。

## 2. 実践を主体とした介護

利用者の接遇について、職員は常に思いやりの精神を持ち、個別ケア実践のため外部研修への参加や施設内研修の開催など、職員の資質及び介護技術の向上に努めました。

また、利用者のニーズに沿った余暇活動を実施し、心身機能維持に努めるとともに、事故防止には最善の注意を払い、報告・連絡・相談・記録の徹底に努めました。

## 3. 衛生管理の徹底

利用者が快適に生活できるための環境づくりを行い、おだやかに落ち着いて毎日を過ごすことができるよう、衛生管理・清潔保持に努めました。

## 4. 医療看護の適正

褥瘡予防の取組みとして早期発見・早期対応を心がけるとともに、身体異常・機能低下の著しい利用者には、適切な対応を心がけました。

感染症予防には職員への徹底した予防対策指導により、施設内に感染症が発生しないように予防の徹底に努めました。また、利用者一人ひとりの身体機能の維持・向上に努めるとともに、利用者の尊厳を尊重し、寄り添い思いやる看護に努めました。

## 5. 栄養管理と食環境の保全

食事は利用者の重要な楽しみのひとつです。常に食材等の栄養・品質管理に努め、個々の嚥下状態に応じた食事の提供、選択食や行事食も随時取り入れるなど、食事に対する意欲を引き出すよう努めました。また、厨房機器等の衛生管理も併せて、安全・安心な食事の提供に努めました。

## 6. 災害防止と対策の確立

年間防災計画に基づき、自主防災組織における防災訓練を実施し、非常時には地域自治会の協力を得られるよう訓練に参加していただきました。また、防火管理計画に基づき消防設備の点検整備及び火気設備・非常口・避難場所の点検を実施し、災害防止に努めました。消防法施行規則一部改正により火災報知設備連動工事を実施し、非常時に速やかに対応できるよう体制を整えました。

## 7. ご家族・地域とともにある施設

利用者と家族、そして地域住民との繋がりを大切にし、親しまれる施設となるように、地域交流推進事業の開催や福祉ボランティア・介護実習生の受け入れ等を積極的に取り組みました。また、「介護教室」を開催するなど、地域に開かれた施設となるよう努めました。

## 事業報告

	管理運営関係	利用者関係
4	1日 開設記念日 3日 理事長訓示 13日 運営会議・サービス改善向上委員会 27日 職員会議・支援課会議	6日 不在者投票(秋田県知事選挙) 7日 誕生会 10日 理容日 23日 カンファレンス
5	1日 地域交流観桜会(下前田自治会) 16日 運営会議 23日 職員健康診断 // 大館労働基準監督署～職員健康管理状況調査 25日 職員会議・支援課会議 30日 前期入所調整委員会	2日 フラワーアレンジメント 5日 端午の節句 11日 誕生会 15日 理容日 21日 カンファレンス 28日 カンファレンス
6	8日 運営会議 25日 地域交流(下前田自治会道払い作業) 27日 職員会議・支援課会議	1日 誕生会 12日 理容日 18日 カンファレンス 29日 前期避難訓練(総合)
7	10日 ボイラーストレージタンク清掃整備～11 20日 運営会議・サービス改善向上委員会 28日 職員会議・支援課会議	7日 フルーツバイキング 13日 誕生会 23日 カンファレンス; スイカ割 26日 カンファレンス 30日 カンファレンス 31日 結核検診
8	1日 介護保険施設等実地指導(秋田県・北秋田市) 10日 運営会議 17日 特定給食施設巡回指導 24日 職員会議・支援課会議 30日 施設内ワックスがけ～31	3日 誕生会 6日 理容日 7日 森吉山麓七夕火まつり見学 15日 阿仁前田獅子踊り見学 27日 カンファレンス 23日 お盆供養
9	6日 運営会議 8日 秋田県施設サービス等利用者処遇指導 21日 職員会議・支援課会議	8日 誕生会 11日 理容日 15日 敬老式 17日 カンファレンス 24日 カンファレンス
10	10日 秋田県税事務所車両調査 11日 運営会議・サービス改善向上委員会 13日 介護教室(コスモス会) 26日 職員会議・支援課会議、窓ガラス清掃	3日・10日利用者心電図①② 9日 理容日 12日 誕生会 16日 後期避難訓練(下前田地域住民参加) 17日 水月聖観音供養、御詠歌

	管理運営関係	利用者関係
10		18日 不在者投票(衆議院議員総選挙) 22日 カンファレンス 27日 だまっこ会(七曲婦人部参加)
11	1日 森泉荘だより第59号発行 9日 運営会議 16日 介護教室(更生保護婦人会) 20日 夜勤者健康診断 21日・28日 インフルエンザ予防接種①② 24日 職員会議・支援課会議	2日 誕生会 13日 理容日 19日 カンファレンス 26日 カンファレンス
12	7日 運営会議 13日 消防設備点検 27日 職員会議、支援課会議	1日 インフルエンザ予防接種 7日 誕生会 11日 理容日 14日 ちゃんこ鍋の日 17日 カンファレンス 25日 年忘れクリスマス会 28日 地域交流餅つき会
1	12日 運営会議・サービス改善向上委員会 25日 職員会議、支援課会議 30日 入所調整委員会(外部委員出席)  ※1/22 面会場所の制限(感染症対策) ※1/24 面会等完全制限開始(感染症対策)	8日 理容日 11日 新年会&宝引大会(根森田七福神) 18日 誕生会 21日 カンファレンス 22日 風船バレー 25日 鍋の日 28日 カンファレンス
2	8日 運営会議 13日 給食委員会 15日 施設内研修(事故防止・防災) 22日 秋田看護福祉大実習受入2名～3/23 23日 職員会議 27日 支援課会議	3日 節分行事 8日 誕生会 12日 理容の日 15日 だまっこ鍋の日 19日 風船バレー 25日 カンファレンス 26日 ゲーム大会
3	9日 運営会議 22日 職員会議・支援課会議 23日 秋田看護福祉大実習終了2名	3日 ひな祭り 8日 誕生会、畠山ミヨ様 110歳長寿を祝う会 12日 理容の日 18日 カンファレンス 19日 風船バレー 22日 不在者投票(北秋田市議会議員一般選挙)

# 平成29年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会  
複合ケアセンター もりの郷

## ◎総括

今年度は、正職員・臨時・パート合わせて7名の退職が相次ぎ補充職員は3名に留まった。そのため人員不足が深刻化し、グループホームの夜勤回数の増加、時間外勤務の増加など、労働環境の悪化を招いてしまった。その為火祭りの模擬店などを中止せざるおえなくなり、地域の方に「残念だ。」等の声が聞かれた。また、慢性的な人員不足により、体調不良者や今後に不安を抱える職員などこのままだと離職者が続くと考えられ、グループホーム1ユニットを廃業する事になった。

ただ職員の努力により、利用者支援の低下はなく落ち着いた生活を支援できた事は良かったと思う。

## ◎重点取り組み報告

### 1 事業運営

#### (1) 地域サロンの取り組み

グループホームもりの郷では、お茶っこ会が定着し毎回4~5名程の方が参加されていたが、グループホームもりの家では回を増すごとに地域参加が少なくなってきた。参加者が高齢となり来ること自体が難儀になったようである。

定着していたもりの郷は廃止に伴い来年度は出来なくなり、もりの家も中断し新たな地域サロンの方法を検討していかなければならない。

#### 2 サービス計画の取り組み

利用者が主体的・意欲的に取り組めるような短期目標の設定をするために、課題整理表を活用しながらより良いサービスを提供するように努めた。今後もより良いサービスの提供に努めていきたい。

#### 3 避難確保計画作成

今年度は、大雨による避難が深夜帯にあり現場職員と電話での対応となった。既存するマニュアルには深夜帯での対応法は記載されていなく状況に応じた対応となったが、地域の方の協力により避難開始から約30分程度で全員避難が完了できた事は良かった。場所的には雨が降ると何時も注意が必要なため、常に避難準備を整えて置く必要があり、また、深夜帯での連絡体制を整えて行きたい。

#### 4 メンタルヘルスへの取り組み

今年度も、心身の変調による退職者があり職員とのコミュニケーション不足を痛感している。特に配置換えで環境が変わった職員とのコミュニケーションが大事であり来年度は気を付けていきたい。

## ◎事業実績 (%)

事業所名	平成 29 年度計画	平成 29 年度実績	前年度実績
GH もりの郷	98.0	92.3	98.7
もりの家(さくら)	98.0	96.3	98.8
もりの家(コスモ)	98.0	93.5	97.8
デイサービス	84.5	83.2	86.2
サポートホーム	98.0	98.1	97.9

## ○各事業所活動報告

### 1. グループホームもりの郷

人員不足の中でも、外出支援を積極的に行いお茶っこ会など定着してきた。火祭りの模擬店は行う事は出来なかったが、その他の地域行事には参加でき、他事業所からの応援を受け、利用者サービスの低下を招く事無く職員一丸となって実施出来た。

また、来年度の廃止に伴い家族の理解や在郷者の入所先も決まり滞りなく行う事が出来た。

## 2. グループホームもりの家（さくら館）

上半期より責任者の不在で職員に不安感がありまた、夜勤回数の増加による疲労感が見られた。利用者の方も活気が無いように感じ再度、利用者個々の状態把握と、ケアの統一性を図りサービスの低下に繋がらないよう気を付けてきた。年間行事に於いては縮小して実施しているが、地域福祉講座の開催、地域との交流会は実施してきた。今後も職員確保に努めていく。

## 3. グループホームもりの家（コスモス館）

今年度は、利用者の方々の「出来ること」「したい事」に視点を置き、一人一人に寄り添いながら少しの事でも達成できた事に対して、喜びを感じて頂けるように努めた。また、職員同士連携を図り利用者個々の状態の把握に努め、利用者の異常時の早期発見に努める事ができた。

ケアプランに関しては利用者個々に合ったサービスの他に、本人の思いや願いを少しでもくみとり計画に繋げた。外出に関しても利用者全員での外出は計画通り実行できたが、個別外出に関しては思うように実行できなかった。

日常生活ではレクリエーションの充実を図り、週案に沿って実施し体を動かす事により機能低下を防ぐことに努めた。

地域交流に関しては第3水曜日お茶会を開催していたが、地域の方々の足が遠のき参加者が少なくなり、下半期は殆ど来られない事が多く見られた。今後、少しでも地域の方々が気軽に来館していただけるよう、新たに地域交流の取り組みについて考えなければいけない。

## 4. デイサービス

今年度の利用率は83.2%（地域密着型72.8%、居宅介護（要支援10.4%）であり、当初の利用目標である84.5%を達成する事が出来なかった。冬期間のショートステイ等の利用など、下半期は毎年利用率の低下が懸念されていたが、今年度はその部分がなかったため、ある程度の利用率を保持する事が出来きったと思ったが、年明けからの利用者の身体状況の低下や、利用終了者が増加した影響で今回の利用率に繋がった。関係機関との連携を深めつつ、利用者の確保や利用率の向上につなげる事が課題であったが、それでも新規利用者6名を確保出来た事は良かった。また、お泊まりデイサービスの利用において、前半はスムーズに対応する事が出来たが、後半は職員の不足により実施できなかったことが反省点であると共に、お泊りデイサービスを継続する上では職員の確保も課題である。

地域交流や各種行事においては、年間を通して概ね計画通りに実施することが出来たが、利用者の身体レベルの低下などにより外出する頻度が少なくなった。それでも、施設内で行われているお茶っこ会等を通して地域の方々に足を運んでいただき交流する機会や楽しさを感じてもらえた。また、交流の一環として引き続き公民館へ足を運び、壁紙を飾って頂いたり、保育園や小学校の行事等にもなるべく参加させて頂きながら、今後も利用者の子供達との世代間交流を図りたい。

利用者の身体状況を見極めながら、来年度においても積極的な地域交流や社会参加を経て利用者との絆を大切にしつつ、住み慣れた地域で少しでも長く過ごせるようにデイサービスとしての役割を果たしていきたい。

## 5. サポートホーム

### (1) もりの郷

利用者の精神面の支援に心がけ会話や見守りを多く持ちながら、不満などの解消に努めてきた。些細なことで不穏になることもあったが、直ぐに職員が間に入り話し合いを持つことで情緒の安定を図った。

健康面では高齢化に伴う身体機能の低下が見られ、歩行不安定な利用者を見守りや車椅子を使用するなど、本人の状態に合った対応をして安心して暮らせるように支援した。



余暇日には近くのコンビニや理容外出など、個々のニーズに合わせて職員が付き添い運動を兼ねて徒歩で行き、歩行不安定な利用者は車で送迎して気分転換を図れるように支援した。

## (2) であいの家、陣場岱ハイツ

であいの家では、利用者間のトラブルは殆どなかった。

健康面では体調不良を訴える事もあり、その都度受診などで速やかに対応してきた。また、肥満対策として体重の管理を行い献立を作成する際は、カロリーを控えた食事メニューやおやつ等に気を付けて体重の減少に努めてきた。

地域交流では、6月の新屋布祭典で模擬店を出し、地域の方々と一緒に踊りやカラオケを楽しんで交流を図った。

陣場岱ハイツは、夜間の保安（18時30分～20時30分）を継続して行い、職員やパートを配置することで利用者が安心して生活ができ、トラブルや物損事故が殆どなくなり落ち着いて生活している。また、外出なども話し合いにて計画を立てて行いトラブルもなく仲良く実施することができた。9月の神成地区祭典では、模擬店を出し焼きそばや焼き鳥を販売して、利用者と一緒に地域の方々と触れ合い交流を図った。地域奉仕活動（クリーンアップ）は、利用者が協力して積極的に取り組み、意欲が感じられるようになってきた。今後も地域の方々や家族との連絡を密にして、安心して地域での生活が送れるように支援していきたい。

## 事業報告

月	管理・運営関係	利用者関係
4月	22日 SH家族会総会(7家族・7人参加)	16日 クリーンアップ(GH・SH・DS) 18日～22日 観桜会(GH・DS) (鷹巣中央公園)
5月	15日 SH利用者健康診断 16日 第1回施設内研修 「介護技術と記録の書き方」(14人) 17日/24日 地域運営推進会議(GH) 26日 震災想定総合訓練(もりの家)	1日 GH郷観桜会(潟上) 7日 SH郷合同外出(男鹿) 10日 もりの家敷地内観桜会 16日 DS外食(上小阿仁) 23日 GH郷ピクニック(北欧の杜)
6月	6日 地域福祉講座「介護技術Ⅱ」 7日 前田駅前祭典実行委員会打ち合せ8日 職員健康診断 であいの家避難訓練(地域参加1人) 29日 もりの郷総合避難訓練 22日/27日 ワックスがけ	11日 新屋布祭典・模擬店出店(10人参加) 13日 バラ園見学(国花苑・GH家) オカリナドナーチェ訪問 16日 SH県北地区利用者交流球技大会 17日 さつき展見学(DS・GH郷) 18日 前田駅前祭典・模擬店出店・演芸観賞 ドライブ外出(八峰町・GH郷) 22日 ドライブ(藤里ゆとりあ・GH家) 27日 もりの家バーベキュー
7月	4日 ワックスがけ 27日 GH無届外出捜索訓練 20日/26日 地域運営推進会議(GH) 26日 第2回施設内研修 「メンタルヘルス」(15人) 31日 森吉中学校職場体験(1人)	17日 SH県北レクリエーション大会 24日～30日 田んぼアート見学(DS) 21日 森幸園 森の夕べ参加(SH・GH郷) 27日 SH一泊旅行(岩手・スマイルフーズ)
8月	1日～3日 森吉中学校職場体験(3人) 8日 GH利用者結核検診 20日 水害想定避難訓練 25日 郷緊急避難(森泉園)	1日/22日 田んぼアート見学(GH家) 6日 地区ねぶ流し(ハイツ・であい) 米内沢駅前子供会ねぶ流し交流会(GH家) 7日 火祭り見学・花火鑑賞 11日～17日 SH夏期一時帰宅(10人) 12日 SH残郷者日帰り旅行(八峰町ゆめろん) 田舎館村田んぼアート見学(GH家) 13日 DSドライブ(八森方面) 15日 獅子踊り見学(森泉荘・GH郷)
9月	14日 GH・DS郷市実地指導 21日/27日 地域運営推進会議(GH・DS) 19日 第4回施設内研修 「リスクマネジメント」(16人) 29日 GH家無届捜索訓練	3日 前田保育園運動会見学(DS) 10日 米内沢駅前祭典・模擬店出店・演芸観賞 15日 GH家菽見学(大館) 17日 神成祭典・模擬店出店(9人参加) 25日 DS外食(四季美館)
10月	3日 森吉地区敬老式(郷7人・家6人) 5日 健康保険協会保健指導(4人) 7日 SH家族総会 13日 もりの郷深夜想定避難訓練(地域5人) 23/26日 であい・ハイツ夜間想定避難訓練 29日 3GH家族総会及び交流会	15日 米内沢小学校学習発表会見学 16/26日 ワックス外出(郷田沢湖・潟上市) 18日 郷前田駅前老人クラブとの交流会 虹色パレット訪問

月	管理・運営関係	利用者関係
11月	6日 夜勤職員・GH利用者健康診断 14日 地域福祉講座(向本城自治会館) 「介護技術」 22日 第4回施設内研修(17人) 「感染症に関して」 24日 SH利用者予防接種	2日 GHさくら紅葉ドライブ(森吉山荘) 9日 前田老人クラブとの交流会(10人) 地域福祉講座「介護保険サービス事業所」 16日 DS昼食会及び買い物外出 17日 郷合同昼食会 25日 SHカラオケ大会
12月	1日 交楽会交流会	18日 森幸園おもいやり自治会クリスマス会 DS買い物外出 25日 各事業所クリスマス会 27日 餅つき交流会(9人)
1月	15日/25日 炊き出し訓練 18/24日 地域運営推進会議 28日 GH郷利用者家族総会(説明会)	5日～9日 各事業所新年を祝う会 29日 SHカラオケ大会
2月	21日 GH家地域運営推進会議 26日 GH・DS地域運営推進会議	1日 合同歳祝い(SH1人) 3日 各事業所節分行事 17日 SHグループ外出(鷹巣縄文の湯)
3月	26日 新任研修(郷1人・家1人)	3日 各事業所ひなまつり行事 11日/18日/24日 SHご苦労さん会 14日～20日 だんし作り